

- ▶ 尾鷲市は、「尾鷲ヒノキ」の産地で知られていることから、公共施設の木質化の事業については、多くの方に知っていただき、地元産材の木材利用の促進に繋がるように取り組んでいく方針。
- ▶ 令和2年度においては、木を活用した珍しい本庁舎の耐震改修工事を実施したことに加え、相乗効果を狙い来庁される方が木の良さを体感できるようロビーの木質化を実施し、市内外に「尾鷲ヒノキ」のPRを行った。
- ▶ 今後においては、多くの方が木の良さを体感できる公共施設を中心に木質化の検討を進めていくこととしている。

## □ 事業内容

### 1 本庁舎耐震改修工事業

- ・ 地元産材である「尾鷲ヒノキ」を活用し、来庁される方が見える木材による耐震工事やロビーの木質化を実施。

【事業費】635,723千円（うち譲与税23,518千円）

（譲与税は、木質化に係る部分に充当）

【実績】木材使用量 32.5m<sup>3</sup>



（1 本庁舎耐震改修工事）

## □ 事業スキーム

### 1 本庁舎耐震改修工事



## □ 工夫・留意した点

- ・ 耐震工事に使用される木材を地元産材である「尾鷲ヒノキ」とし、木の温かみの空間を演出できるように、室内外に木材を施した。また、この工事では、無垢材による木圧着ブレースや世界初となるCLT加工された木製エラストンブロック耐震壁が採用されている。

## ◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	28,434千円
②私有林人工林面積（※1）	9,701.56ha
③林野率（※1）	92%
④人口（※2）	17,253人
⑤林業就業者数（※2）	41人

※1：「令和元年度版 三重県森林林業統計書」より ※2：「令和2年度尾鷲市統計書」より